

広報えんがる

瓦版

新型コロナウイルスに関連した患者の発生について

道は4月11日、遠軽町において新型コロナウイルスに関連した感染症の患者を確認したと発表しました。その後、患者は本町在住で遠軽地区広域組合遠軽消防署に勤務する20代の男性であると遠軽地区広域組合から発表がありました。

また、患者と当直勤務をしていた職員11名を、9日から自宅待機とし、現在まで症状が出ている職員はいません。

なお、罹患した職員の行動歴、濃厚接触者については、現在、道において調査中です。

また、道は町民との間に濃厚接触が無かったかなどについて、引き続き調査しています。

■冷静に正しく理解し対応しましょう

道は、感染症法に基づき、個人情報保護、患者の人身保護の観点から、住民の一人一人が感染症になった場合を考えて慎重に対応をしています。罹患した患者の発表は振興局単位としてお

町民の皆様には、ご心配をお掛けしているところですが、ご了承いただきますようお願いいたします。

■町民の皆様へ

新型コロナウイルスについては、誰もが感染者・感染源になる可能性があります。

町民の皆様には、「換気の悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」の3つの密を避けるとともに、引き続き、咳エチケットや手洗いの徹底など感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

また、風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている、強いだるさや息苦しさがあるといった症状のある方は、帰国者・接触者相談センター（紋別保健所）にご相談ください。

2020年(令和2年)
4月16日(木)
発行：遠軽町役場
総務部企画課
電話 42 - 4818
FAX 42 - 3688

濃厚接触者は感染者ではありません。保健所で2週間の健康観察を行うとともに、咳エチケットや手洗いを徹底し、不要不急の外出は控え、やむを得ず移動する際にも、公共交通機関の利用を避けることをお願いしています。

また、自分以外の人と接するときには、マスクの着用と手指衛生などの感染予防策をとっています。

■「濃厚接触者」への対応

- ・適切な感染防護無しに新型コロナウイルス感染症
- ・濃厚接触者とは？
- ・「患者(確定例)」が発病した日以降に接触した者のうち、次の範囲に該当する方です。
- ・新型コロナウイルス感染症が疑われる者と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった方
- ・適切な感染防護無しに新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を診察、看護もしくは介護していた方
- ・新型コロナウイルス感染症が疑われる者の気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方
- ・手で触れること、または対面で会話することが可能な距離(目安として2メートル)で、必要な感染予防策なしで、「患者」と接触があった方(患者の症状やマスクの使用状況を総合的に判断する)

濃厚接触者は感染者ではありません。保健所で2週間の健康観察を行うとともに、咳エチケットや手洗いを徹底し、不要不急の外出は控え、やむを得ず移動する際にも、公共交通機関の利用を避けることをお願いしています。

また、自分以外の人と接するときには、マスクの着用と手指衛生などの感染予防策をとっています。

■問合せ先

危機対策室 ☎42 - 4811
保健福祉課 ☎42 - 4813

北海道ソーシャルディスプレイ シング運動
〜今は、距離をとって〜

新型コロナウイルスの感染を防ぎ、大切な人の命を守るために、お互いに手を伸ばしても届かない距離を保つ、北海道ソーシャルディスプレイングを道民運動として展開しています。あなたの大切な人の命を守るために、日々の行動で、いつもより少し距離を保つことに、ご協力をお願いします。

町民の皆様へお願い

～一人一人の行動がご自身や大切な人の命と健康を守ります～

国の緊急事態宣言の対象地域(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府、兵庫県、福岡県)などから帰省した方におかれては、2週間はご自身の体調に十分ご注意ください、不要不急の外出を控えるようお願いいたします。

また、北海道と札幌市は新型コロナウイルス感染症対策に関し、第2波とも言える感染拡大の危機を早期に収束させるため、緊急共同宣言を発出しました。5月6日までの間、感染リスクを高めるような札幌市近郊との不要不急の往来を控えるようお願いいたします。

家庭や施設内で新型コロナウイルス感染症の疑いがある方へのケア

■家庭や施設内における感染経路

- ・新型コロナウイルス感染症は発症すると、咳や痰、鼻水等の症状が現れ、咳やくしゃみのしぶき(飛沫)にウイルスが含まれている場合、飛沫を吸い込むことによって感染します。
- ・また、咳をする際に口元を抑えた手や痰、鼻水に触れた手でドアノブや電気のスイッチに触れ、そこに別の人が触れた手で目や鼻を触ることで家族や施設内の方に接触感染します。

■施設や家庭内での過ごし方

- ・新型コロナウイルス感染症の疑いがある方が家庭や施設内で生活をしている場合、疑いのある方を家族や施設利用者から別室に隔離(可能であれば)した上で、室内をよく換気し、清掃と消毒を徹底することで家族や施設内における感染を防ぐことができます。詳しくは「新型コロナウイルス感染症に関する清掃・消毒について」をご覧ください。

■ケアする際の注意事項

- ・疑いがある方をケアする場合は、部屋に入る時にマスクを着用し、こまめに手洗いとエタノールで手指消毒を行いましょう。タオルは使い捨ての紙タオル等が望ましく、マスク装着後はマスクの表面に触れないようにしましょう。また、一度使用したマスクは再度着用しないようにしましょう。
- ・鼻水や痰が付着したティッシュや使用したマスクはビニール袋に入れ、しっかり口を絞って捨てましょう。

新型コロナウイルス感染症に関する 清掃・消毒について

1 新型コロナウイルス感染症の感染経路

新型コロナウイルス感染症の感染経路は飛沫感染と接触感染です。

■飛沫感染

飛沫感染とは、感染した人の咳やくしゃみのしぶき(飛沫)に含まれるウイルスを吸い込むことによる感染です。

■接触感染

接触感染とはウイルスが付着した手で目・口・鼻を触ることによる感染です。

2 家庭や施設内の消毒について

手指がよく触れる場所を清潔に保つことが大切です。手など皮膚の消毒を行う場合には、消毒用エタノールを、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウムも有効であることが分かっています。

(厚労省、新型コロナウイルスに関するQ&Aより)



○ソーシャルディスタンスとは
新型コロナウイルスの感染を防ぎ、大切な人の命を守るために、咳エチケットなどに加えて、人と人の物理的な距離(互いに手を伸ばしても届かない距離)を保つ取り組みのことです。

買物は混雑していない時間帯に、散歩やジョギングなどは、感染リスクが低いです。